

茅野市温泉施設の民間活用に関するサウンディング型市場調査 実施結果の概要について

令和7年3月3日

茅野市社会福祉課

1 サウンディング調査実施の経緯

茅野市が設置している温泉施設では、利用者数が減少傾向にあることに加えて、施設・設備の老朽化に伴う更新・改修費用の増加により、将来にわたって今ある施設を全て維持していくことが難しくなってきています。

今後の温泉施設のあり方を検討するにあたり、観光客を含め利用者の多い施設や安定した経営が見込まれる施設については、民営化の可能性について模索するため、茅野市温泉施設の民間活用に関するサウンディング型市場調査を実施しました。

2 サウンディング調査の実施スケジュール

実施方針の公表	令和6年8月26日（月）
現地見学会の参加申込期限	令和6年10月21日（月）
現地見学会の開催	アクアランド 令和6年10月29日（火） カルチャーセンター 令和6年10月29日（火） 河原の湯 令和6年10月31日（木） 金鶏の湯 令和6年10月30日（水） 縄文の湯 令和6年10月31日（木） 望岳の湯 令和6年11月1日（金） 塩壺の湯 令和6年10月30日（水） ゆうゆう館 令和6年10月28日（月）
サウンディング参加申込期限	令和6年12月9日（月）
サウンディング実施日時及び場所の連絡	令和6年12月23日（月）
提案書の提出期限	令和7年1月10日（金）
サウンディング実施	令和7年1月21日（火）～22日（水）
実施結果概要の公表	令和7年3月3日（月）

3 サウンディング調査の参加者

（1）現地見学会参加者

2事業者

（2）サウンディング調査参加者

2事業者

4 サウンディング調査結果の概要

A 社からの提案内容

提案施設	尖石温泉縄文の湯、玉宮温泉望岳の湯
施設の利活用	既存の施設を利活用
事業方式	公共施設等運営権制度による運営
利活用方針等	・「脱炭素社会の実現」、「流域環境の保全」、「地域経済の循環」という3つの視点から、「温泉施設からはじめる地域づくり」をテーマとした利活用を提案。 ・現在の「福祉」という視点に加えて、「観光」「交流」「教育」といった視点での機能の充実。

B 社からの提案内容

提案施設	アクアランド茅野及びカルチャーセンター
施設の利活用	既存の施設を利活用
事業方式	1 指定管理者制度による運営 2 民間のフィットネスクラブとして運営
利活用方針等	1 指定管理者制度による運営 ・B 社で管理している他施設との連携による人員不足の解消や、大型備品、消耗品等の大量発注による単価抑制が可能。 2 民間のフィットネスクラブとして活用 ・カルチャーセンターを改修し、トレーニング器具の導入によりフィットネスクラブとして活用。 ○施設運営に伴う地域貢献 ・資格を持つ社員によるスポーツ教室等の開催や、自治体や企業からの依頼に基づき、健康運動指導士等の専門指導者を派遣した出張運動指導の実施。 ・施設のプールを活用した学校水泳事業など、市内小中学校の体育事業への支援や、土日や放課後のワンポイントでの指導者派遣による部活動への支援が可能。 ・B 社で所有する体組成測定器や姿勢測定アプリ、子ども向けのエア遊具を活用したイベントの実施。また、フリーマーケットやマルシェを開催し、地域の活性化や地域の賑わい、交流を創出。 ・施設メンテナンスの地元事業者への委託や、地域住民の積極的な雇用。